

アカシウス寄宿舎学園

声優ごっこイベント

4月8日分 台本

# 第二話 『え〜私がお姉さまのお部屋?!』

4月7日にお客様に

感情表現を選んで頂いた

完成版。

お客様に選んで頂く感情表現

感情

後ろから

中抱き付かれる

中バシと叩かれる

✓背中をスーとされる

感情

中怒った感じず

中ドキドキした感じず

✓赤面した感じで

## 第二話 えく私がお姉さまのお部屋？！

とある廊下での風景

生徒A 「ホーミイ！」

ホウミ 「キヤ」

生徒A 「ニヤハハハ。

ホーミイは、どのお姉さまのお部屋係に立候補するのかな？」

ホウミ 「ちよつといきなり後ろから…

何、お部屋係？

うーん、お部屋係って言っても…私が知っているお姉様ってなく」

お客様に選んで頂く感情表現

感情

✓ 真剣に悩んだ感じで

□ 物憂げな感じで

感情

✓ ピシと言い放つ感じで

□ 妖艶な感じで

感情

□ 髪を引や張られた感じ

✓ 背中をツンとされた感じ

感情

□ 上品な冷笑

□ 妖艶な感じで

✓ 心底面白そうに

生徒A 「早く立候補しないと、

人気のあるお姉様のお部屋係はすぐ埋まっちゃうからね」

ホウミ 「うん…」

ホウミ 「(独り言) そっか、でも、私が知ってるお姉様は…

でも、私なんかで勤(つと)まるのかな…」

フィニア 「ちよつと、あなた」

ホウミ 「ハヒイ！」

フィニア 「確かあなたよね、

初登校の日に間違ってカフェテリアに乱入したのって」

感情

✓真剣にムっとした感じ  
で  
中可愛く怒った感じ

感情

中まづいって恐縮した感じ  
で  
✓まだ反抗的な感じ

感情

✓Sっぽく冷笑した感じ  
で  
中心底面由そり

感情

中物憂げな感じ  
で  
✓当惑した感じ

感情

中必死で抵抗する感じ  
で  
中ハニシタ状態  
で  
✓モジモジした感じ

ホウミ「そ、そうですけど！」

ホウミ「(心の声) 何この子、私より年下じゃない！ あっリボンがピンク！」

「あつ、お姉さま！ 失礼致しました」

フィンニア「あなた、おもしろいわ。私の部屋係になりなさい！」

ホウミ「えっ、私ですか！ 私は…」

フィンニア「そうね、ちょうどいいわ。今から私の部屋に案内してあげる」

ホウミ「あ、いえ、私などでは…お姉さま」

感情

✓妖艶な感じで

□冷たい感じで

感情

✓淡々とした感じで

□物憂げな感じで

感情

□逃げ出す感じで

□ドキッとした感じで

✓子供っぽくごまかす感じで

感情

□あまがれた申な感じで

✓ボーっとした感じで

感情

✓からかう感じで

□諭す感じで

□挑戦的な感じで

フィニア「うふふふ、たっぷり服従（ふくじゆう）させてあげるからね」

「そそ、わたしの名前はフィニア、ファイファイお姉さまって呼んでもよくてよ」

ウオツカ「こらファイファイ、何をしている」

フィニア「うっ。ウオツカお姉様…」

ホウミ「（心の声）あつ、初めての日にお会いしたウオツカお姉さま！」

ウオツカ「聞いてたぞ。君はまだベリルだろ。」

部屋係を持ちたかったら、さっさとコランダムまで上がってくる事だな」

感情

✓ダダっ子な感じ

中渡さないぞと挑戦的に

感情

中困った感じぞ

✓挑戦的な感じぞ

感情

中悪だくみな子供の感じ

中素直な感じぞ

✓軽く悩む感じぞ

感情

✓思いつきり妖艶に

中いたずらっ子な感じぞ

中上から申線ぞ

感情

✓半泣きな感じぞ

中前向きな感じぞ

フィニア 「うっー。でも、この子面白いから、この子がいい！」

ウオツカ 「あいかわらずだな、君は…」

じゃあ、君とこの子で、私の部屋係をやったらどうだ？」

フィニア 「そうですよね。めんどろだけど、それも面白いかも！

じゃあ、さっそく今からウオツカお姉さまのお部屋に Let's Go！」

フィニア 「くふっふふ、たっぷりしごいてあげるからね〜」

ついでに私の奴隷だからねっ」

ホウミ 「(心の声) え〜、私がウオツカお姉さまのお部屋係〜！

フィニアお姉さまの奴隷って何！ 私、どうなるんだろ〜」